

## 第868回宮城県教育委員会定例会日程

日 時：平成27年7月10日（金）午後1時30分から

場 所：県行政庁舎16階 教育委員会会議室

### 1 出席点呼

### 2 開会宣言

### 3 第867回教育委員会会議録の承認について

### 4 第868回教育委員会会議録署名委員の指名

### 5 議 事

- |                             |           |
|-----------------------------|-----------|
| 第1号議案 職員の人事について             | (教 職 員 課) |
| 第2号議案 宮城県スポーツ推進審議会委員の人事について | (スポーツ健康課) |
| 第3号議案 宮城県図書館協議会委員の人事について    | (生涯学習課)   |

### 6 課長報告等

- |                                   |           |
|-----------------------------------|-----------|
| (1) 教育等の振興に関する施策の大綱について           | (教育企画室)   |
| (2) 平成28年度県立高等学校組織編制計画について        | (教育企画室)   |
| (3) 平成27年度宮城県学力・学習状況調査結果について（速報）  | (義務教育課)   |
| (4) (仮称)宮城県立支援学校岩沼高等学園川崎キャンパスについて | (特別支援教育室) |
| (5) 平成28年度公立高等学校入学者選抜について         | (高校教育課)   |

### 7 資料（配付のみ）

- |   |           |
|---|-----------|
| (1) 教育庁関連情報一覧について                             | (総 務 課)   |
| (2) みやぎの防災だより（第3号）について                        | (教 職 員 課) |
| (3) 平成27年3月高等学校卒業者の就職内定状況について                 | (高校教育課)   |
| (4) 宮城県美術館特別展「ヘレン・シャルフベックー魂のまなざしー」の開催<br>について | (生涯学習課)   |
| (5) 東北歴史博物館特別展「徳川将軍家と東北」の開催について               | (文化財保護課)  |

### 8 次回教育委員会の開催日程について

### 9 閉会宣言

## 教育等の振興に関する施策の大綱について

### 1 趣旨・位置付け

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正(平成26年6月20日公布,平成27年4月1日施行)に伴い,地方公共団体の長は,その地域の実情に応じ,当該地方公共団体の教育等の振興に関する総合的な施策の大綱(以下「大綱」という。)を定めることとされたことから,宮城県総合教育会議において教育委員会と協議・調整の上,大綱を策定するものである。

### 2 大綱の期間

平成27年度から平成28年度まで

### 3 大綱の内容

「宮城県教育振興基本計画」と「宮城県震災復興計画」における目標や施策の根本となる方針を一体的に整理し,5つの「基本方針」及び7つの「基本目標」を設定するもの。

#### <基本目標>

- 1 学ぶ力と自立する力の育成
- 2 豊かな人間性や社会性,健やかな体の育成
- 3 障害のある子どもへのきめ細かな教育の推進
- 4 被災地における安全・安心な学校教育の確保
- 5 信頼され魅力ある教育環境づくり
- 6 幼児教育の充実と家庭・地域・学校が協働して子どもを育てる環境づくり
- 7 生涯にわたる学習・文化・スポーツ活動の推進

### 4 策定までの経過等

平成27年4月21日 第1回宮城県総合教育会議

- ・「教育等の振興に関する施策の大綱」体系(案)の検討

平成27年6月1日 第2回宮城県総合教育会議

- ・「教育等の振興に関する施策の大綱」(案)の検討

平成27年7月6日 政策・財政会議

- ・「教育等の振興に関する施策の大綱」の決定



# 教育等の振興に関する施策の大綱

平成27年7月

宮城県

## 「教育等の振興に関する施策の大綱」の策定について

平成26年6月、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され、地方教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、地方公共団体の長と教育委員会との連携の強化など、教育委員会に関する制度の抜本的な改革が行われることとなり、平成27年4月1日より施行されました。

法律の改正に伴い、地方公共団体の長は、総合教育会議において教育委員会と協議・調整の上、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育等の振興に関する総合的な施策の大綱を定めることとされたところであります。

本県におきましては、これまでも、教育委員会とともに「宮城県教育振興基本計画」を策定し、同計画に基づく様々な施策の展開を通じて、家庭・地域・学校の強い絆のもとで、高い志を持った、心身ともに健やかな子どもたちを育てること、また、人々が生涯にわたり多様に学び、交流する中で、潤いのある文化を守り育むような地域社会を築くことを目指してまいりました。

また、東日本大震災後は、家庭・地域・学校の協働のもと、学校で学ぶ全ての子どもたちが、安心して学べる教育環境を確保するため、安全・安心な学校教育の確保、家庭・地域の教育力の再構築、生涯学習・文化・スポーツ活動の充実を柱として取組を進めてきたところであります。

法改正に伴う抜本的な改革の趣旨とこれらの状況を踏まえ、これまで以上に教育委員会と力を合わせて教育行政の推進に取り組むとともに、震災の教訓を十分に踏まえ、これまで以上に宮城の教育を充実させていくため、「宮城県教育振興基本計画」と「宮城県震災復興計画」における目標や施策の根本となる方針を一体的に整理した「教育等の振興に関する施策の大綱」を、宮城県総合教育会議において協議・調整の上、策定いたしました。

平成27年7月

宮城県知事 村井嘉浩

## 1 大綱の位置付け

本大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3の規定に基づき地方公共団体の長が策定する大綱として位置付けられるものです。

## 2 大綱の期間

平成27年度から平成28年度まで

## 3 基本方針

### 基本方針1

夢と志を持ち、その実現に向けて自ら考え行動し、社会を生き抜く人間を育みます。

### 基本方針2

次代を支える社会の一員として、歴史が培ってきた文化や規範を尊重し、思いやりの心に富んだ人間を育みます。

### 基本方針3

被災地の教育環境の整備を進めるとともに、子どもたちの心のケアや防災教育の充実を図ります。

### 基本方針4

学校・家庭・地域の教育力の充実と連携の強化を図り、宮城の豊かな教育資源を生かしながら、社会全体で子どもを守り育てる環境をつくります。

### 基本方針5

生涯にわたり学び、互いに高め合い、充実した人生を送ることができる地域社会をつくります。

## 4 基本目標

### 基本目標 1 学ぶ力と自立する力の育成

- ・ 宮城の復興を支える人材育成の視点も踏まえ、児童生徒の発達段階に応じ、自己の適性等と社会の中で果たすべき役割、「学ぶことの意義」の理解を促しながら、勤労観や職業観を涵養し、主体的に進路を選択する能力や態度を育成する「志教育」の取組を進めます。
- ・ 基礎的・基本的な知識・技能の更なる定着を図るとともに、学んだことを基に、主体的に考え、判断し、課題を解決する力の育成に取り組みます。
- ・ 国際理解、環境問題、情報化、福祉等、今日的課題に関する学習を通して、激しく変化する社会を生き抜くための力を育成します。
- ・ ICTを活用した学習活動を展開し、発達の段階に応じた情報活用能力を育成するとともに、情報活用のルール、セキュリティ等の情報モラル教育を推進します。

### 基本目標 2 豊かな人間性や社会性、健やかな体の育成

- ・ 本県の多彩な教育資源を活用した体験活動を通して、命を大切にする心や社会的規範意識、美しいものや自然に感動する心を育てることに取り組みます。
- ・ 様々な学習活動や日常生活における外遊びなどを通じて、コミュニケーション能力の育成や言語活動の充実を図るとともに、人と積極的に交流することにより、社会の中で他者と協調しながら共に生きるために必要な実践的な態度や資質を育成します。
- ・ いじめ等の問題行動を解消するため、学校・家庭・関係機関が緊密に連携する体制づくりに取り組むとともに、不登校児童生徒の登校へ向けた支援体制の充実を図ります。
- ・ 生涯にわたり健康で活力ある生活を送るための基礎的な体力・運動能力の向上に取り組みます。

### 基本目標 3 障害のある子どもへのきめ細かな教育の推進

- ・ 発達障害を含め、障害のある子どもに対して、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行うために、障害のある子どもと障害のない子どもが共に学ぶことのできる環境づくりを進めるとともに、特別支援学校の狭隘化等への対応に努めます。
- ・ 幼稚園、保育所、小学校、中学校、高等学校に在籍する障害のある児童生徒等について、特別支援学校やさまざまな関係機関が連携して、当該在籍校等に対する相談・支援を行う体制を整備します。
- ・ 障害のある子どもの社会参加のため、県民の理解促進や就労に向けた支援を推進します。

## 基本目標 4 被災地における安全・安心な学校教育の確保

- ・ 震災で甚大な被害を受けた学校施設の復旧・再建に取り組むとともに、児童生徒が安全で安心して学べる環境づくりに取り組みます。
- ・ 時代のニーズや生徒の多様化・個性化に応じた魅力ある学校づくりを進めるため、地域の復興の方向性などを踏まえながら、教育環境の整備に取り組みます。
- ・ 被災した児童生徒等が安心して就学できる環境を整えるため、就学援助に取り組むとともに、奨学資金の貸付等による継続的な支援に取り組みます。
- ・ 震災を契機とした様々な環境の変化に伴う児童生徒等の心のケアにきめ細かく対応するとともに、生徒指導、進路指導、教育相談など、長期的・継続的な支援体制の充実を図ります。
- ・ 県全体の防災・減災の取組と連携し、震災の教訓を十分踏まえ防災教育の一層の充実を図るため、児童生徒の災害対応能力の育成や学校と地域が連携した防災体制の強化に取り組みます。

## 基本目標 5 信頼され魅力ある教育環境づくり

- ・ 採用、研修、評価、人事異動等の各段階を通じ、総合的に教員の指導力及び資質の向上を図ります。
- ・ 学校ごとに、教育目標、教育活動計画とその実施状況、教育成果の評価等を公開し、開かれた学校づくりを推進します。
- ・ 県立高校においては、「主体的に生き抜く力」と「人と関わる力」の育成に特に重点的に取り組むこととし、そのために必要となる授業展開、学校づくり、条件整備等を行います。
- ・ 子どもたちが安心して学べるように学習環境の充実に努めるとともに、私立学校の役割も踏まえ、私学への支援を行います。

## 基本目標 6 幼児教育の充実と家庭・地域・学校が協働して子どもを育てる環境づくり

- ・ 幼稚園や保育所等における幼児教育の充実や小学校との円滑な接続に向けた取組を進めます。
- ・ 家庭教育や子育てに関する情報及び学習機会の提供、地域で支援する人材の養成、企業等の子育て環境づくりの支援等を通じて家庭の教育力の向上を図ります。
- ・ 地域住民、企業、NPO等の参画を得て、社会体験等体験活動の機会の充実に取り組むとともに、防災、防犯、有害環境の浄化等子どもの安全の確保に取り組みます。
- ・ 家庭・地域・学校がそれぞれの役割の重要性を認識し、相互に連携し支え合いながら、子どもの成長を社会全体で支えていく仕組みづくりを進めます。



## 基本目標 7 生涯にわたる学習・文化・スポーツ活動の推進

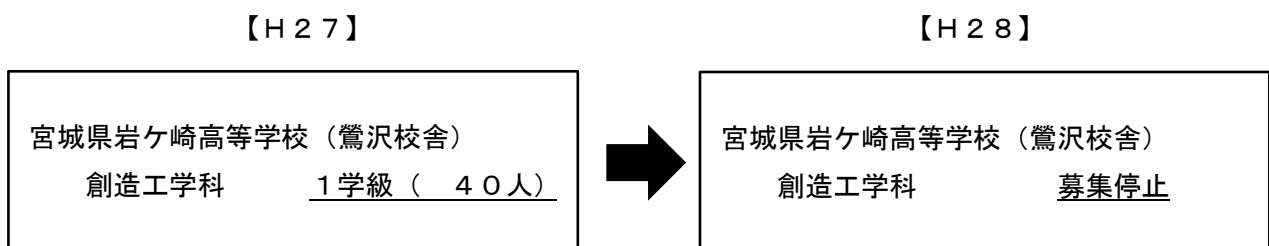
- ・ 県民のニーズに対応した生涯学習機会の提供に努め、また、その成果を生かす機会を充実させるとともに、地域の教育資源である人材の発掘、生涯学習指導者や地域づくり活動のリーダーの育成に努めます。
- ・ 文化芸術活動の担い手のすそ野を広げるため、特に青少年を対象に優れた芸術の鑑賞機会の充実を図るとともに、県民の創作・研究等創造的な活動を支援するため、発表や交流の場を提供します。
- ・ 郷土の伝統的な文化芸術や文化財を県民共通の財産として、その保存、継承及び発展を図り、文化芸術による地域づくりを目指します。
- ・ だれもがスポーツに親しめるよう、スポーツ環境の充実に努め、県民総スポーツ社会の実現に努めるとともに、国内上位・国際水準の競技スポーツ選手の育成を目指し、各年代層において計画的かつ継続的に選手の指導強化を図ります。

## 平成28年度県立高等学校組織編制計画について

## 1 募集停止の措置

「栗原地区及び本吉地区における県立高校の再編について」（平成26年7月公表）に基づき、岩ヶ崎高等学校（鶯沢校舎）創造工学科を募集停止とします。

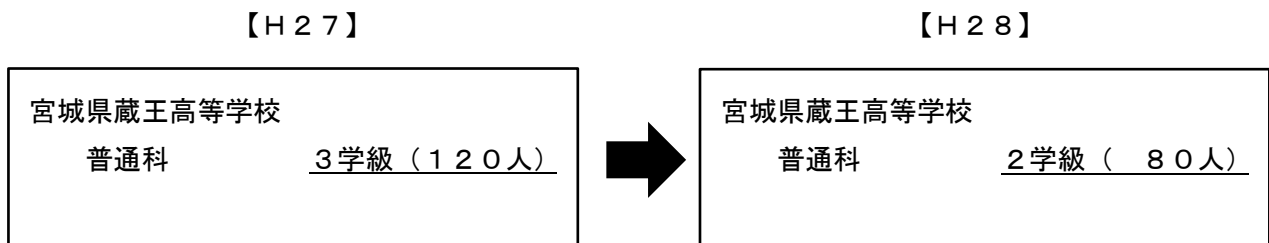
（栗原地区）



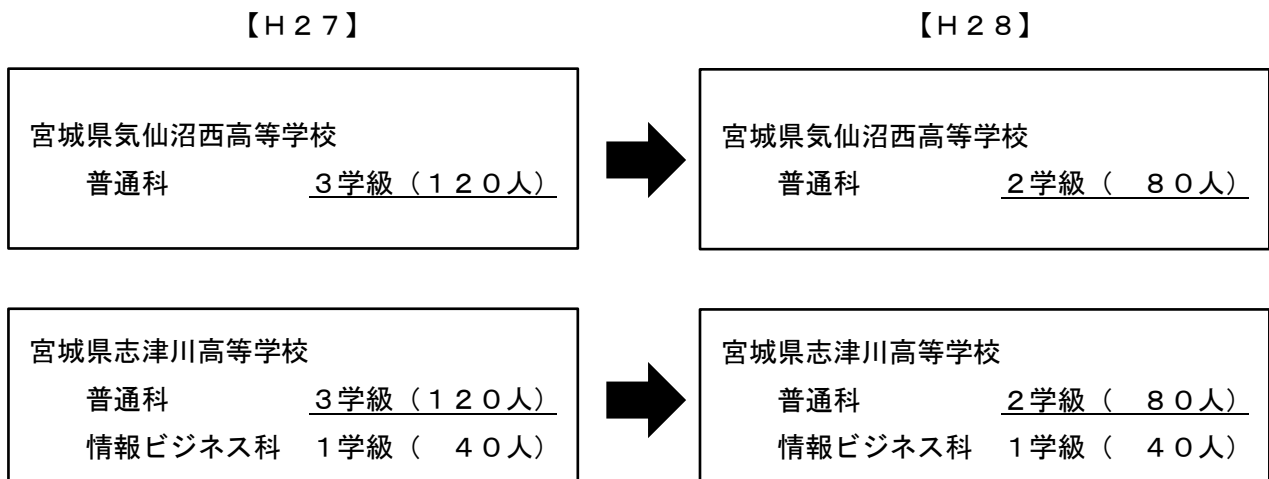
## 2 学級減の措置

生徒数の減少等に対応するため、次の学校において、第1学年の学級数を1学級減とします。

（南部地区）



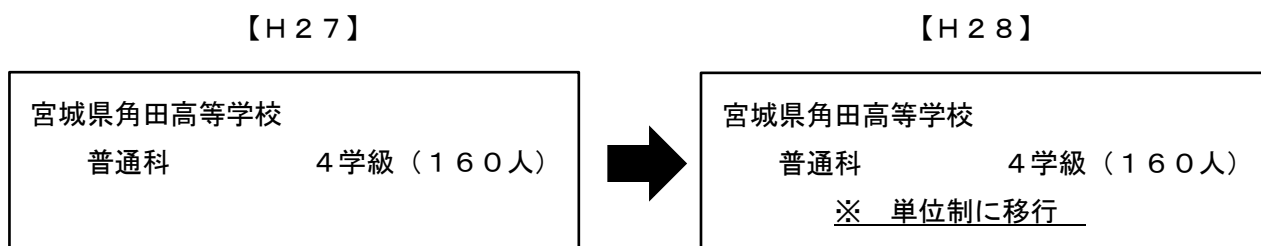
（本吉地区）



### 3 学科改編等

#### (1) 宮城県角田高等学校

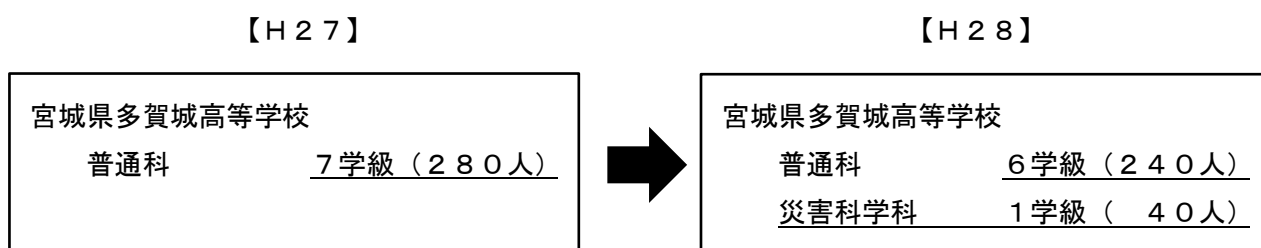
生徒の多様な進路希望等に対応するため、単位制を導入します。



#### (2) 宮城県多賀城高等学校

「新県立高校将来構想第2次実施計画」（平成25年2月公表）に基づき、東日本大震災から学んだ教訓を確実に次世代に伝承するとともに、将来国内外で発生する災害から多くの命と暮らしを守ることができる人材を育成するため、多賀城高等学校に災害科学科を新設します。

- ① 過去の災害や環境から見出される諸課題を学習題材とした、独自の科目の導入
- ② 自然科学的な探求手法の修得と人間・社会的視点を養う専門教育を実施
- ③ 地域、大学や研究機関等と連携した教育活動



### 4 その他

県内の特別支援教育に対するニーズの高まりや高等学校教育における障害の有無に関わらず共に学び合える教育機会を創出するため、柴田農林高等学校川崎校の校舎の一部を活用し、岩沼高等学園の分校を併設します。

## 平成27年度宮城県学力・学習状況調査結果について（速報）

## 1 実施状況

## （1）調査の目的

- ① 宮城県の児童生徒の学力や学習状況及び学校の学習に係る取組、意識等を調査することにより、児童生徒の一層の学力向上に向け、学習指導の改善と家庭学習の充実を図るとともに、今後の教育施策の企画・立案に活用する。
- ② 本調査の結果と全国学力・学習状況調査の結果を関連付けて分析することにより、学校における教育に関する継続的な検証改善サイクルの確立を図る。

## （2）調査実施期日等

平成27年4月14日（火）

## （3）調査対象（仙台市を除く）

- ① 小学校5年生及び特別支援学校小学部5年生の全児童
- ② 中学校2年生及び特別支援学校中学部2年生の全生徒

## （4）調査事項及び内容

- ① 教科に関する調査
  - ・小学校5年生：国語，算数
  - ・中学校2年生：国語，数学，英語
  - ※基礎・基本に関する問題が全体の約8割
  - ※思考力・判断力・表現力に関する問題が全体の約2割
- ② 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査
  - ・児童生徒に対する調査
  - ・学校に対する調査

## （5）実施校（仙台市を除く）

- ① 小学校調査 267校
- ② 中学校調査 142校

## （6）実施児童生徒数（仙台市を除く）

- ① 小学校調査 10,949人
- ② 中学校調査 11,532人

## 2 調査結果

### (1) 教科に関する調査結果

- 全体の平均正答率では、小5、中2の全ての教科で「期待値」※1とのかい離は5ポイントの範囲内であり、有意差は見られなかったが、小5の国語は、期待値とのかい離が大きく課題が見られる。
- 「基礎・基本」については、5ポイント以上の有意差は見られなかったが、小5の国語、中2の全ての教科で期待値を下回っており、やや課題が見られる。小5の国語は、期待値とのかい離が大きく課題が見られる。
- 「思考力・判断力・表現力」については、5ポイント以上の有意差は見られなかったが、小5の国語、中2の国語、英語は期待値を下回っており、かい離も大きく課題が見られる。
- 小5の国語、中2の英語は、全ての経年比較でマイナスであり、課題が見られる。
- 小5の算数、中2の数学は、全ての経年比較がプラスとなり、改善傾向が見られる。

＜表1＞学年・教科ごとの宮城県平均正答率（全体、基礎・基本、思考力・判断力・表現力）

（単位 %）

校種	教科		全体				基礎・基本				思考力・判断力・表現力			
			県平均正答率	期待値	期待値との比較 ※2	経年比較 ※3	県平均正答率	期待値	期待値との比較	経年比較	県平均正答率	期待値	期待値との比較	経年比較
小学校	国語	H27	62.0	66.7	-4.7	-0.8	64.8	69.5	-4.7	-0.6	46.0	50.2	-4.2	-1.4
		H26	63.8	67.7	-3.9		67.9	72.0	-4.1		46.0	48.8	-2.8	
	算数	H27	71.3	70.5	0.8	0.4	73.3	73.0	0.3	0.5	61.8	59.0	2.8	0.0
		H26	74.4	74.0	0.4		76.2	76.4	-0.2		67.5	64.7	2.8	
中学校	国語	H27	62.9	64.9	-2.0	0.3	66.8	68.3	-1.5	0.8	45.6	49.7	-4.1	-2.4
		H26	65.3	67.6	-2.3		67.4	69.7	-2.3		53.7	55.4	-1.7	
	数学	H27	61.8	63.0	-1.2	3.1	63.3	64.9	-1.6	2.9	56.2	56.0	0.2	3.6
		H26	58.9	63.2	-4.3		61.5	66.0	-4.5		49.7	53.1	-3.4	
	英語	H27	65.6	68.3	-2.7	-1.3	71.2	73.5	-2.3	-0.8	47.5	51.1	-3.6	-2.2
		H26	69.3	70.7	-1.4		73.8	75.3	-1.5		53.9	55.3	-1.4	

※1 「期待値」について

全国的な水準で期待すべき想定平均正答率を県が設定した参考値である。

※2 「期待値との比較」について

県平均正答率と期待値とのかい離を表した値である。

※3 「経年比較」について

H27の「期待値との比較」の値をH26の値と比較したものである。調査年度により、調査問題、対象児童生徒が異なるため県平均正答率ではなく、「期待値との比較」の値の差によって比較した。

(2) 小学校国語

○「書くこと」、「話すこと・聞くこと」に課題がある。

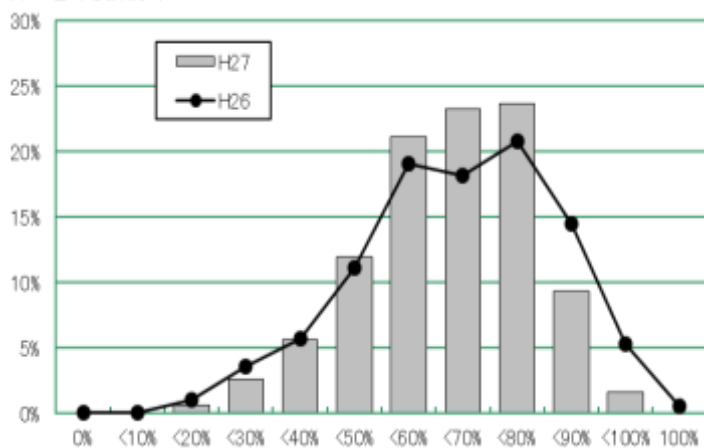
- ・「教科全体」、「基礎・基本」及び「思考力・判断力・表現力」ともに、5ポイント以上の有意差は見られなかったものの、期待値を下回っており、かい離は大きい。経年比較もマイナスとなっており、課題が見られる。
- ・「書くこと」については、期待値との比較、経年比較の両面から見て課題がある。また、「話すこと・聞くこと」については、期待値との比較では有意差は見られないが、経年比較においてマイナスとなっており、課題が見られる。「読むこと」及び「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、期待値との比較でやや課題は見られるものの、経年比較ではプラスになっており、改善傾向が見られる。

<表2> 領域別平均正答率

(単位 %)

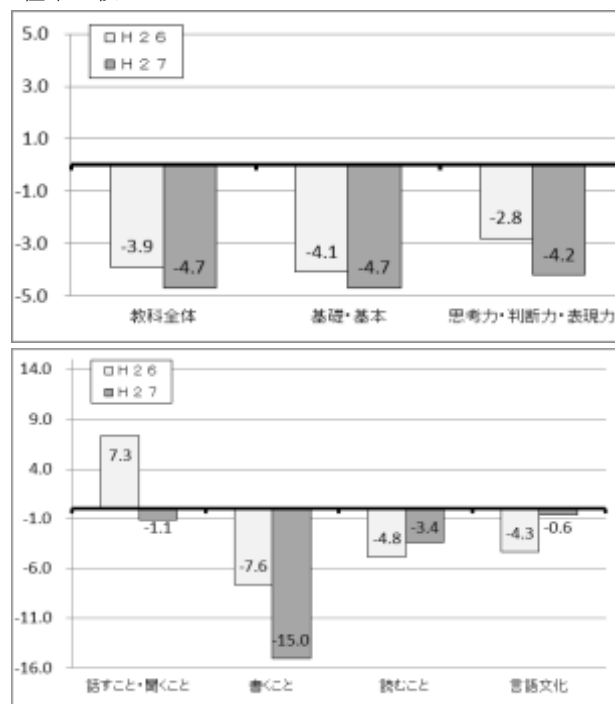
分類	区分		県平均 正答率	期待値	期待値との 比較	経年 比較
全体 ・ 基礎 ・ 活用	教科全体	H27	62.0	66.7	-4.7	-0.8
		H26	63.8	67.7	-3.9	
	基礎・基本	H27	64.8	69.5	-4.7	-0.6
		H26	67.9	72.0	-4.1	
	思考力・判断力・表現力	H27	46.0	50.2	-4.2	-1.4
		H26	46.0	48.8	-2.8	
領域	話すこと・聞くこと	H27	70.5	71.6	-1.1	-8.4
		H26	68.6	61.3	7.3	
	書くこと	H27	54.8	69.8	-15.0	-7.4
		H26	59.9	67.5	-7.6	
	読むこと	H27	55.9	59.3	-3.4	1.4
		H26	61.2	66.0	-4.8	
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	H27	68.6	69.2	-0.6	3.7
		H26	66.9	71.2	-4.3	

★正答率度数分布



※4 「★経年比較」は、「期待値との比較」の値をグラフ化し、経年比較を表したものである。以下のグラフにおいて同じ。

★経年比較 ※4



(3) **小学校算数**

○「数と計算」、「量と測定」、「数量関係」については概ね身に付いているが、「図形」にやや課題がある。

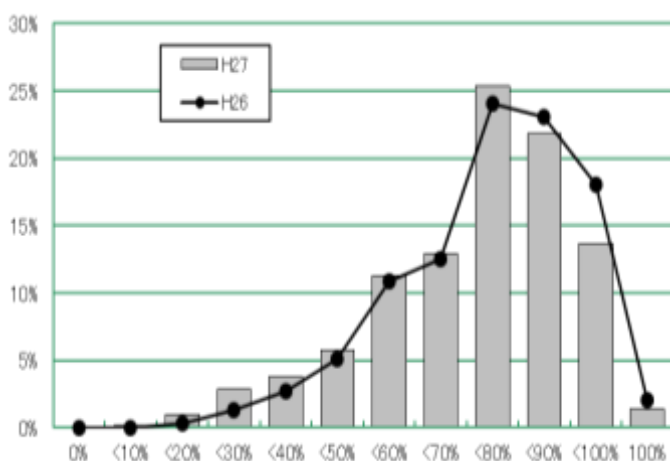
- ・「教科全体」、「基礎・基本」、「思考力・判断力・表現力」について、全て期待値を上回り、経年比較でもプラスであり改善傾向が見られる。
- ・「図形」は、期待値との比較では有意差は見られないが、経年比較でマイナスとなっており、やや課題が見られる。

<表3> 領域別平均正答率

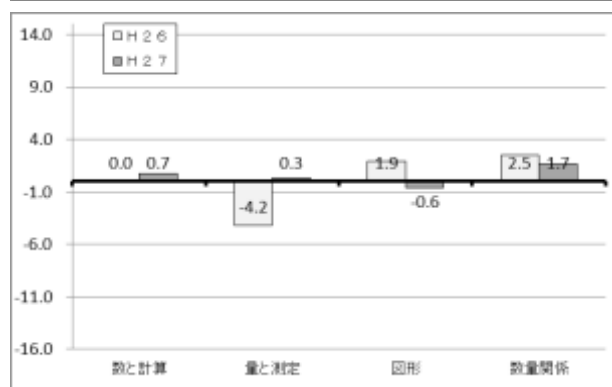
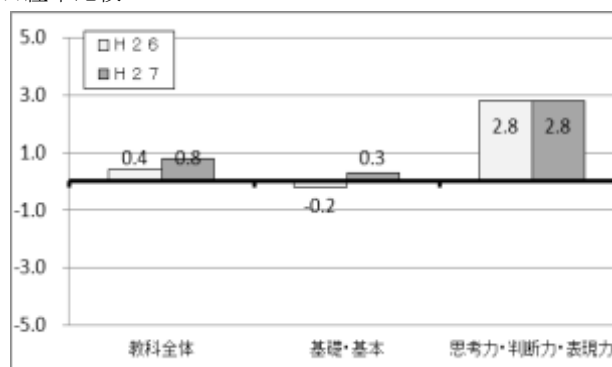
(単位 %)

分類	区分		県平均 正答率	期待値	期待値との 比較	経年 比較
全体 ・ 基礎 ・ 活用	教科全体	H27	71.3	70.5	0.8	0.4
		H26	74.4	74.0	0.4	
	基礎・基本	H27	73.3	73.0	0.3	0.5
		H26	76.2	76.4	-0.2	
	思考力・判断力・表現力	H27	61.8	59.0	2.8	0.0
		H26	67.5	64.7	2.8	
領域	数と計算	H27	78.9	78.2	0.7	0.7
		H26	78.4	78.4	0.0	
	量と測定	H27	77.1	76.8	0.3	4.5
		H26	74.9	79.1	-4.2	
	図形	H27	65.1	65.7	-0.6	-2.5
		H26	75.8	73.9	1.9	
	数量関係	H27	59.2	57.5	1.7	-0.8
		H26	67.9	65.4	2.5	

★正答率度数分布



★経年比較



(4) 中学校国語

○「書くこと」に改善が見られるが、他の領域において課題がある。

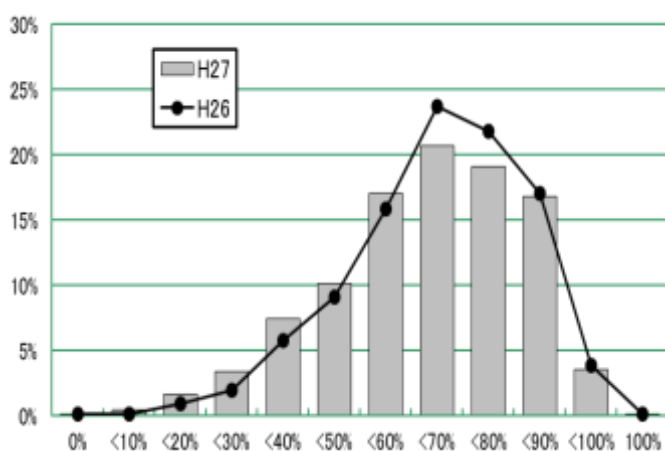
- ・「教科全体」、「基礎・基本」及び「思考力・判断力・表現力」ともに、5ポイント以上の有意差は見られなかったものの、期待値を下回っておりやや課題が見られたが、「教科全体」と「基礎・基本」は経年比較でプラスとなり、改善傾向も見られる。
- ・「書くこと」については、期待値を5ポイント以上上回り、経年比較も大きくプラスとなったことから改善が見られる。他の領域については期待値を下回り、期待値とのかい離もやや大きく、経年比較もマイナスとなっていることから課題がある。

<表4> 領域別平均正答率

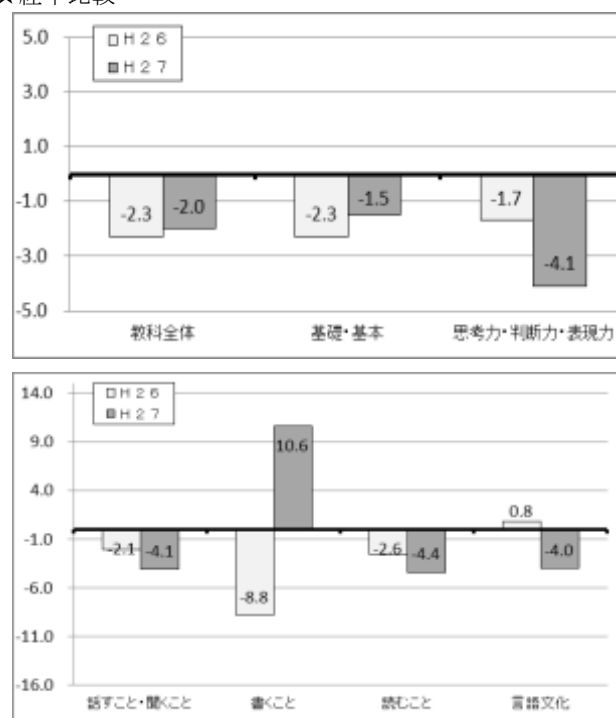
(単位 %)

分類	区分		県平均 正答率	期待値	期待値との 比較	経年 比較
全体 ・ 基礎 ・ 活用	教科全体	H27	62.9	64.9	-2.0	0.3
		H26	65.3	67.6	-2.3	
	基礎・基本	H27	66.8	68.3	-1.5	0.8
		H26	67.4	69.7	-2.3	
	思考力・判断力・表現力	H27	45.6	49.7	-4.1	-2.4
		H26	53.7	55.4	-1.7	
領域	話すこと・聞くこと	H27	76.0	80.1	-4.1	-2.0
		H26	75.3	77.4	-2.1	
	書くこと	H27	73.2	62.6	10.6	19.4
		H26	67	75.8	-8.8	
	読むこと	H27	55.1	59.5	-4.4	-1.8
		H26	59.9	62.5	-2.6	
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	H27	60.4	64.4	-4.0	-4.8
		H26	65.5	64.7	0.8	

★正答率度数分布



★経年比較





(5) 中学校数学

○「関数」に課題がある。

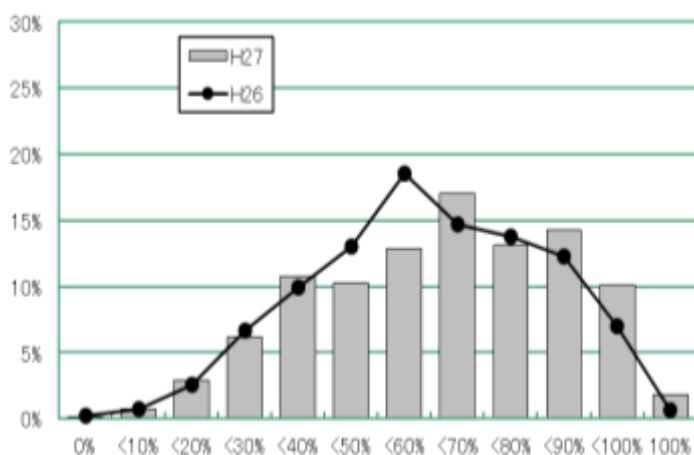
- ・「思考力・判断力・表現力」以外は、期待値をやや下回っており課題が見られるが、経年比較が全てにおいてプラスとなっており改善傾向が見られる。
- ・「資料の活用」では、期待値との比較、経年比較ともに大きくプラスになり、改善傾向が見られる。「関数」では、5ポイント以上の有意差は見られないが、期待値を下回り、経年比較も横ばいであることからやや課題が見られる。

<表5> 領域別平均正答率

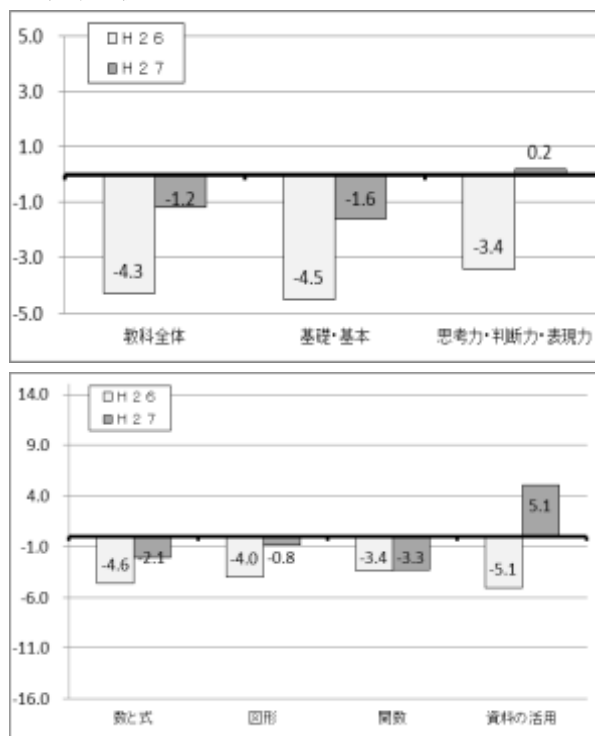
(単位 %)

分類	区分		県平均 正答率	期待値	期待値との 比較	経年 比較
全体 ・ 基礎 ・ 活用	教科全体	H27	61.8	63.0	-1.2	3.1
		H26	58.9	63.2	-4.3	
	基礎・基本	H27	63.3	64.9	-1.6	2.9
		H26	61.5	66.0	-4.5	
	思考力・判断力・表現力	H27	56.2	56.0	0.2	3.6
		H26	49.7	53.1	-3.4	
領域	数と式	H27	66.7	68.8	-2.1	2.5
		H26	63.6	68.2	-4.6	
	図形	H27	59.3	60.1	-0.8	3.2
		H26	49.3	53.3	-4.0	
	関数	H27	57.0	60.3	-3.3	0.1
		H26	57.9	61.3	-3.4	
	資料の活用	H27	52.0	46.9	5.1	10.2
		H26	61.2	66.3	-5.1	

★正答率度数分布



★経年比較



(6) 中学校英語

○「書くこと」は改善傾向が見られるが、「聞くこと」とともに課題がある。

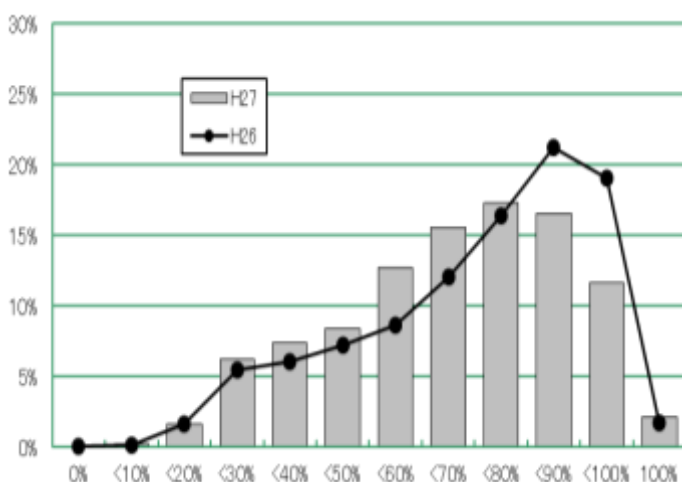
- ・全ての区分で期待値を下回っており、課題が見られる。
- ・「聞くこと」は、期待値との比較では有意差はないが、経年比較では大きくマイナスとなっており、課題が見られる。「書くこと」は、期待値を下回っており課題は残るが、経年比較では大きくプラスとなっていることから、改善傾向が見られる。

<表6> 領域別平均正答率

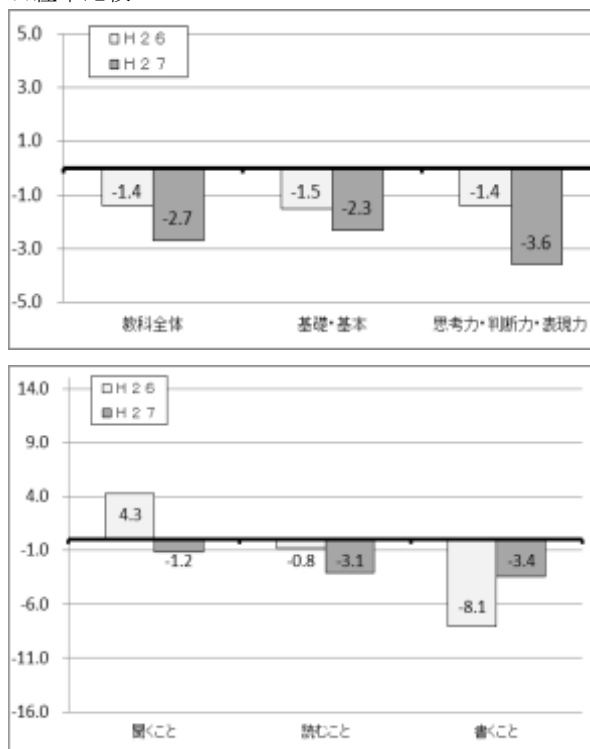
(単位 %)

分類	区分		県平均 正答率	期待値	期待値との 比較	経年 比較
全体 ・ 基礎 ・ 活用	教科全体	H27	65.6	68.3	-2.7	-1.3
		H26	69.3	70.7	-1.4	
	基礎・基本	H27	71.2	73.5	-2.3	-0.8
		H26	73.8	75.3	-1.5	
	思考力・判断力・表現力	H27	47.5	51.1	-3.6	-2.2
		H26	53.9	55.3	-1.4	
領域	聞くこと	H27	77.5	78.7	-1.2	-5.5
		H26	76.2	71.9	4.3	
	読むこと	H27	63.4	66.5	-3.1	-2.3
		H26	70.9	71.7	-0.8	
	書くこと	H27	58.3	61.7	-3.4	4.7
		H26	60.0	68.1	-8.1	

★正答率度数分布



★経年比較



## (7) 質問紙調査結果の概況

※回答欄の数値は、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」の割合を合計した値（％）

※経年比較欄の数値はH27とH26との回答の差

### 児童生徒質問紙調査の結果

#### ① 学力向上に向けた5つの提言と関連する事項

- 先生から声を掛けられたり、励まされたりしているとする割合が小5、中2ともに7割を超え、先生が話を聞いてくれる、良いところを認めてくれるとしている割合は、8割を超えている。経年比較もプラスであり、肯定的に受け止めている児童生徒が多くなっている。
- 授業のはじめに目標を示されていると思っている割合は、小5、中2とも高い。授業の最後に振り返る活動をよく行っていると思っている割合は、小5、中2とも低く、課題はあるが、経年比較では改善傾向が見られる。
- 自分の考えをノートに書くようにしている割合は、小5で7割を超えている。中2では5割程度と低く課題があるが、経年比較から改善傾向が見られる。
- 家で授業の予習、復習をしている割合は小5、中2ともに5割前後で低く、課題があるが、経年比較では改善傾向が見られる。
- 平日、家庭などで小5で1時間以上勉強している割合は、5割を超えているが、経年比較ではマイナスでありやや課題が見られる。中2で2時間以上勉強している割合は、2割程度と低く課題がある。

質問事項	年度	小学校5年生		中学校2年生	
		回答	経年比較	回答	経年比較
1 先生から声を掛けられたり、励まされたりしますか	H27	73.7	4.0	70.7	5.2
	H26	69.7		65.5	
2 先生はあなたの話を聞いてくれますか	H27	91.7	4.9	85.4	5.9
	H26	86.8		79.5	
3 先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思いますか	H27	84.8	3.8	80.2	4.4
	H26	81.0		75.8	
4 授業のはじめに先生から（めあて・ねらい）が示されていると思いますか	H27	82.1	1.6	78.9	5.4
	H26	80.5		73.5	
5 授業の終わりにその時間の学習内容を振り返る活動が行われていると思いますか	H27	66.7	0.6	57.0	4.8
	H26	66.1		52.2	
6 授業で、自分の考えをノートに書くようにしていますか	H27	71.9	-2.0	55.5	4.9
	H26	73.9		50.6	
7 家で学校の授業の予習をしていますか	H27	48.3	4.1	40.9	4.1
	H26	44.2		36.8	
8 家で学校の授業の復習をしていますか	H27	57.6	-0.3	58.6	8.0
	H26	57.9		50.6	
9 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（塾や家庭教師含む、小学校：1時間以上、中学校：2時間以上）	H27	52.7	-4.1	24.2	2.1
	H26	56.8		22.1	
10 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（塾や家庭教師含む、小学校：2時間以上、中学校：3時間以上）	H27	21.9	0.1	12.8	-0.3
	H26	21.8		13.1	

#### ② 震災の影響

- 経年比較から、中2については、少しずつ震災の影響を乗り越え始めているように思われる。一方、小5については、授業に集中できないときがある、落ち着かなくなることがあると回答した割合がやや高く、経年比較からも昨年度より増えていることが分かる。

質問事項	年度	小学校5年生		中学校2年生	
		回答	経年比較	回答	経年比較
11 (小) 震災があったために、家庭学習がやりにくいですか (中) 震災があったために、家庭学習がやりにくくなりましたか	H27	16.7	-1.9	12.7	-0.3
	H26	18.6		13.0	
12 突然震災を思い出し、授業に集中できないときがありますか	H27	16.2	2.6	5.6	0.2
	H26	13.6		5.4	
13 突然震災を思い出し、気持ちが落ち着かなくなることがありますか	H27	22.0	4.4	9.3	-2.6
	H26	17.6		11.9	

#### ③ 学習の理解度

- 小5では、国語、算数の授業の内容が分かるとしている割合は、9割前後であり高くなっている。中2でも、国語、数学、英語とも7割を超え、高くなっている。

質問事項	年度	小学校5年生		中学校2年生	
		回答	経年比較	回答	経年比較
14 国語の授業の内容はよく分かりますか	H27	90.2	2.5	85.5	2.6
	H26	87.7		82.9	
15 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	H27	89.8	0.8	72.5	0.7
	H26	89.0		71.8	
16 英語の授業の内容はよく分かりますか	H27			72.0	-0.1
	H26			72.1	

④ 基本的な生活習慣

- 朝食を毎日食べることなど、学力向上を支える基本的な生活習慣については、小5、中2ともに肯定的な回答をした割合が高く、概ね身に付いている。
- 小5では、テレビやビデオを見る時間、テレビゲームの時間が減っており、改善傾向が見られる。中2では、その質問事項に加え、携帯電話やスマートフォンの使用時間も減っており、全体として改善傾向が見られる。

	質 問 事 項	年度	小学校5年生		中学校2年生	
			回答	経年比較	回答	経年比較
17	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	H27	76.7	-2.3	78.6	1.4
		H26	79.0		77.2	
18	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	H27	89.3	0.0	92.2	-0.1
		H26	89.3		92.3	
19	朝食を毎日食べていますか	H27	96.3	-0.2	94.4	-0.1
		H26	96.5		94.5	
20	平日に、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか（テレビゲームを除く）→3時間以上と回答した割合	H27	26.1	-1.1	25.9	0.5
		H26	27.2		25.4	
21	平日に、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）をしますか→3時間以上と回答した割合	H27	10.8	-1.5	16.3	-1.7
		H26	12.3		18.0	
22	平日に、携帯電話やスマートフォンを勉強以外で使う時間はどのくらいですか →3時間以上と回答した割合	H27	3.3	0.0	13.6	-2.0
		H26	3.3		15.6	
23	平日に、携帯電話やスマートフォンでLINEなどの無料通信アプリをどのくらい使っていますか →1時間以上と回答した割合	H27	5.7	0.3	26.7	-4.4
		H26	5.4		31.1	
24	携帯電話やスマートフォンを所持している割合	H27	47.8	-6.0	66.5	-3.9
		H26	53.8		70.4	

※20 から 24 については、数値が高いほど、また、比較の値が大きいほど改善の必要性が高い。

〈学校質問紙調査の結果〉

- 将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導に取り組んでいる学校の割合は、小5、中2とも9割を超え、高くなっている。小5は、経年比較から取組の充実がうかがえる。
- 算数、数学の指導において、補充的な学習の指導及び発展的な学習の指導に取り組んでいる学校の割合は、小5で5割程度、中2で2割程度と低い。

	質 問 事 項	年度	小学校5年生		中学校2年生	
			回答	経年比較	回答	経年比較
1	国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行ったか	H27	90.7	1.3	96.6	-0.6
		H26	89.4		97.2	
2	国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行ったか	H27	83.5	5.1	86.7	4.2
		H26	78.4		82.5	
3	算数・数学の授業において、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	H27	64.0	9.4	24.5	-7.0
		H26	54.6		31.5	
4	算数・数学の授業において、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか	H27	55.4	3.4	16.8	-7.7
		H26	52.0		24.5	
5	英語の授業において、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	H27			19.6	-2.8
		H26			22.4	
6	英語の授業において、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか	H27			17.5	-2.8
		H26			20.3	
7	将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行ったか	H27	90.3	6.4	94.4	0.0
		H26	83.9		94.4	

### 3 今後の対応

- 「全体」、「基礎・基本」、「思考力・判断力・表現力」の正答率は、全ての教科で期待値と5ポイント以上の有意差は見られなかったものの、小5の算数と中2の数学の一部を除いて期待値を下回っている。「基礎・基本」を確実に定着させながら、「思考力・判断力・表現力」の育成を図る取組も必要である。
- 「全体」、「基礎・基本」、「思考力・判断力・表現力」の正答率は、期待値との比較においては課題が見られるが、経年比較では半数がプラスとなっており、徐々に改善が図られていることが分かる。学力向上に向けての基本となる「5つの提言」を踏まえ、各学校が授業改善に取り組んだり、指導主事の学校訪問の機会をとらえ、課題となっていた「授業の最後に振り返る活動」を確実に行うよう働き掛けたりしたことが改善要因の一つと考える。今後も継続し、働き掛けていく。
- 各教科の「教科全体」、「基礎・基本」、「思考力・判断力・表現力」や「領域」ごとの調査結果で、経年比較の変化が大きかった点について、今後さらに詳細な分析を行い対策を講じていく。
- 個に応じた指導が不十分なところが見受けられる。学習内容の定着に向け、学校の状況、児童生徒の実態に応じて、個に応じた指導の充実を図っていくよう各学校へ促していく。
- 国語の指導として、書く習慣を付ける授業はほとんどの学校で行われるようになっている。一方、小5の国語の「書くこと」には課題が見られる。双方の関連も含めて分析を行い対策を講じていく。
- 震災の影響に関する質問では、小5では、影響を感じていると回答した割合が増えている。一方、中2では、徐々に減ってきている。今後も児童生徒の姿を注意深く見守りながら、これからも子供の心のケアに努め、家庭学習を含め、落ち着いて学習ができるよう学習環境の整備をより一層進めていく。
- 中2の携帯電話やスマートフォンの利用時間が減少している。小5もテレビの視聴時間、テレビゲームの時間が減少している。基本的な生活習慣、学習習慣の形成を一層図っていく。
- これから調査結果の詳細な分析を進め、4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果分析と連動させながら検証改善サイクルの充実を図るなど、市町村教育委員会と連携して学力向上に向けた具体的な取組を進めていく。

## （仮称）宮城県立支援学校岩沼高等学園川崎キャンパスについて

### 1 学校（分校）の名称

- (1) 名 称 (仮称) 宮城県立支援学校岩沼高等学園川崎キャンパス  
 (2) 設 置 平成28年4月1日（予定）

### 2 学科と定員等

- (1) 学 科 産業技術科  
 2コース（流通サービスコース，福祉コース）  
 (2) 対 象 軽い知的障害を有する生徒  
 (3) 定 員 各学年 男女8人（1学級）  
 (4) 修業年限 3か年  
 (5) 学 区 県内全域，通学制（3年間）

### 3 分校設置の趣旨

障害の有無によらず共に学ぶ教育環境づくりの一つとして、柴田農林高等学校川崎校（以下「川崎校」という。）の校舎の一部を活用して、「軽い知的障害のある生徒に、社会参加と職業的自立を目指した職業教育をとおして、積極的に社会参加し、心豊かに、そして主体的に自分の力や可能性を発揮して生きる人間を育成する」という岩沼高等学園の基本方針を踏まえ、地域の特色を生かした人間教育を目指す。

### 4 学校の特徴

- (1) デュアルシステムによる職業教育  
 地域資源を活用したデュアルシステムによる職業教育を行う。流通サービスコース，福祉コースの2コースを設定し，職場実習との連携を図りながら生徒の能力・適性に合った教育を行う。
- (2) 高等学園における交流及び共同学習の展開  
 川崎校の生徒との交流をはじめ，地域の人々との交流の機会を増やし，幅広いコミュニケーション能力を身に付けると共に，心の成長を目指した教育を行う。
- (3) 社会に貢献できる人材の育成  
 地域に密着したボランティア活動等を実践することにより，社会に貢献できる人材の育成を図る。
- (4) 卒業後に生活を自己管理するための指導の展開  
 社会に出た後の生活リズムを在学中に確実に身に付けさせることを目指し，地域の各種施設を有効に活用した経験等とおして，仕事と余暇のバランスなど，生活を自己管理する力を育む。

### 5 今後の予定

- ・7月23日（木）川崎校の学校説明会において川崎キャンパスの学科や定員について説明。
  - ・8月20日（木）川崎校を会場とした川崎キャンパスの学校説明会。
- ※ 入学選考に係る教育相談及び選考業務は，岩沼高等学園で行う。

## 平成28年度公立高等学校入学者選抜について

## 1 募集定員

		平成28年度	平成27年度	増減
募集定員(全日制課程+定時制課程)		15,760	15,920	▲ 160
全日制課程	前期選抜	4,842	4,828	14
	後期選抜※1	9,918	10,092	▲ 174
定時制課程	前期選抜	308	308	0
	後期選抜※1	692	692	0
通信制課程 (美田園高校)	一期入学者選抜	450	450	0
	二期入学者選抜	50	50	0

※1:後期選抜の定員は前期選抜後に確定

## 2 日程等

	前期選抜・連携型選抜※2	後期選抜	第二次募集※3
出願資格	志望する高等学校が事前に公表する「出願できる条件」を満たす生徒	前期選抜を受験していない生徒及び前期選抜に合格していない生徒	前期選抜、後期選抜のいずれにも合格していない生徒
実施日	平成28年2月3日(水)	平成28年3月9日(水)	平成28年3月23日(水) ※3
実施内容	○3教科の学力検査 (国語・数学・英語)  ○学校独自検査 (面接・実技・作文等から 1つ以上実施)	○5教科の学力検査 (国語・社会・数学・理科・英語)  ○面接や実技を実施する 場合がある	面接、実技、作文、 学力検査(国語・数 学・英語)のいずれ か1つ又は複数を実 施する場合がある
合格発表	平成28年2月12日(金)	平成28年3月16日(水)	平成28年3月23日 (水)・24日(木)※4

※2:連携型選抜 連携型中高一貫教育を行っている、南三陸町内の2中学校(志津川中、歌津中)の生徒を対象として、志津川高校において実施

※3:合格者数が募集定員に満たない高校で実施

※4:実施校で決定し、後日公表

## 教育庁関連情報一覧（平成27年6月10日～平成27年7月9日）

1	<p>○仙台三桜高等学校の生徒が、全国高等学校総合体育大会及び全国高等学校総合文化祭の実行委員会の事務局看板を揮毫（きこう）</p> <p>仙台三桜高等学校の生徒が揮毫（きこう）した「平成29年度全国高等学校総合体育大会」及び「第41回全国高等学校総合文化祭」の実行委員会事務局看板が、同委員会会長に手渡された。</p> <p>【概要】          受納日 平成27年6月12日（金）          揮毫者 仙台三桜高等学校 森川桃乃（1年）</p>  <p style="text-align: right;">（担当：全国高校総体推進室，全国高校総合文化祭推進室）</p>
2	<p>○県内高等学校の生徒と関係者が「野菜・加工品」販売会と学校紹介パネル展示会を開催</p> <p>伊具高等学校，農業高等学校，加美農業高等学校及び迫桜高等学校の4校の生徒及び関係者が，ホテル白萩を会場に，各学校で生産された野菜や加工品の販売会及び学校紹介パネル展示会を開催した。</p> <p>【概要】          開催日 平成27年6月30日（火）          会場 ホテル白萩          主な販売品          伊具高等学校 紫玉ネギ，ジャガイモ 他          農業高等学校 米，玉ネギ 他          加美農業高等学校 キュウリ，リンゴジュース 他          迫桜高等学校 米，トマト 他</p>   <p style="text-align: right;">（担当：高校教育課）</p>



### ○石巻好文館高等学校が台湾高雄市立六亀高級中学と国際交流を実施

石巻好文館高等学校と高雄市立六亀高級中学の生徒が、音楽を通じて互いの文化に触れ、交流を深めることを目的に、交流会を実施した。

#### 【概要】

日 程 平成27年6月30日（火）

会 場 石巻好文館高等学校体育館

参加者 石巻好文館高等学校 音楽部28名、マンドリン部17名の生徒 他

高雄市立六亀高級中学 合唱部及び太鼓部59名の生徒 他

その他 両校は震災等で被害を受け、国内外からの支援に支えられたことから、音楽活動を通じて被災を乗り越えてきた。遠く離れていながらも、両校は同じ境遇にあったことから、高雄市立六亀高級中学が石巻好文館高等学校の訪問を希望し、今回の国際交流が実現した。



(担当：高校教育課)

### ○リトルリーグ野球チーム「塩竈リーグ」が2015年ザバス杯第49回全日本リトルリーグ野球選手権大会に出場

2015年ザバス杯・第49回全日本選手権東北連盟大会～楽天イーグルスCUPで準優勝し、全国大会に出場する塩竈リーグの選手及び関係者が、その報告のため7月1日（水）に県を表敬訪問した。

#### 【大会概要】

大会名 2015年ザバス杯第49回全日本リトルリーグ野球選手権大会

開催日 平成27年7月18日（土）～7月20日（月）

会 場 福島県白河市



(担当：スポーツ健康課)

5	<p>○「ぽぷり」(太白区)、「いろはクラブ」(若林区)が第46回全国ママさんバレーボール大会に出場</p> <p>第46回全国ママさんバレーボール大会に宮城県代表として出場する「ぽぷり」(太白区)、「いろはクラブ」(若林区)の選手及び関係者が、その報告のため7月1日(水)に県を表敬訪問した。</p> <p>【大会概要】</p> <p>大会名 第46回全国ママさんバレーボール大会  開催日 平成27年8月7日(金)～8月10日(日)  会場 セキスイハイムスーパーアリーナ、富谷スポーツセンター</p> <p>(担当：スポーツ健康課)</p> 
6	<p>○「JR東日本東北」日本製紙石巻」が第86回都市対抗野球大会に出場</p> <p>第86回都市対抗野球大会に東北代表として出場する「JR東日本東北(仙台市)」日本製紙石巻(石巻市)の関係者が、その報告のため7月8日(水)に県を表敬訪問した。</p> <p>【大会概要】</p> <p>大会名 第86回都市対抗野球大会  開催日 平成27年7月18日(土)から12日間  会場 東京ドーム  主催 (公財)日本野球連盟、毎日新聞社</p> <p>(担当：スポーツ健康課)</p> 
7	<p>○サッカー U-15カンボジア代表チームが宮城県総合運動公園(グランディ・21)でトレーニングキャンプを実施</p> <p>宮城県総合運動公園(グランディ・21)でトレーニングキャンプを実施しているサッカーU-15カンボジア代表チームの選手及び関係者が、その報告のため7月8日(水)に県を表敬訪問した。</p> <p>【キャンプスケジュール等】</p> <p>日程 平成27年7月5日(日)～7月20日(月)(予定)  場所 ひとめぼれスタジアム宮城 他  その他 代表監督の老岐友輔氏は、ベガルタ仙台でアカデミーコーチを15年間務め、ベガルタ仙台に在籍したまま、2014年からJICA及びJFAを通じてカンボジアに派遣中。</p> <p>(担当：スポーツ健康課)</p> 

### ○第41回全国高等学校総合文化祭第1期生徒企画委員に委嘱状を交付

公募により決定した第41回全国高等学校総合文化祭第1期生徒企画委員に対し、高橋実行委員会会長より委嘱状が交付された。式では生徒企画委員を代表して、仙台商業高等学校2年 安孫子友大さんが力強く決意を述べた。

#### 【概要】

開催日 平成27年7月8日（水）

人数 40名

受取代表生徒 仙台第一高等学校 佐藤 絢香（1年）

その他 生徒企画員は7月28日（火）から滋賀県で開催される第39回全国高等学校総合文化祭に参加し、大会PRを行います。



（担当：全国高校総合文化祭推進室）





## 地域とつながり

## 子どもたちの笑顔を支える“心のケア”

県教育委員会では、これまで防災教育の推進とともに、児童生徒の心のケアについて、スクールカウンセラーなどの専門職員の派遣や、相談・支援体制の整備に取り組んできました。震災から4年が経過した今もなお、様々な形で現れる不適応症状などにきめ細かく対応するために、今後も長期的視点に立って継続的に児童生徒の心のケアの充実を図っていきます。

## 子どもの心のケアに向けた主な取組

- **スクールカウンセラーの配置・派遣**……小学校は、市町村に配置したスクールカウンセラーを派遣し対応しています。また、中学校及び県立高校は、県内全ての学校に配置しました。
- **スクールソーシャルワーカーの配置・派遣**……家庭等の環境に起因する問題に対応するために、社会福祉等の専門的知識を有するスクールソーシャルワーカーを、要望に応じて市町村及び県立高校に配置しています。
- **各種相談窓口の設置**……総合教育センター不登校・発達支援相談室では、専任の相談員や指導主事、臨床心理士が電話や面談で相談を受け付けています。
- **各種研修会の実施**……時間とともに変化する児童生徒の心の状況に対応するため、地域の実情や時期に応じた研修会を実施しています。

## 子供のこころサポート研修会

総合教育センター

総合教育センターでは、平成26年度から学校を訪問して行う訪問支援研修会と、被災地域に出向いて行うサテライト研修会を実施しています。

訪問支援研修会は、学校からの要請により、精神科医や臨床心理士、保健師等が学校を訪問して講義や事例検討を行う研修会です。また、サテライト研修会は、学校と地域の連携をテーマにした講義や演習、実践事例発表を行う研修会で、県内3カ所（気仙沼、石巻、名取）で開催しています。



●H26サテライト研修会の様子（本吉公民館）

## 宮城県子ども総合センター研修会

南三陸教育事務所

震災で甚大な被害を受けた地域にある南三陸教育事務所では、子ども総合センターの協力を得て、子どもたちの心のケアについて理解を深めるための研修会を実施しています。

昨年は5回の研修会に、延べ219名の先生方が参加しました。今後、一層重要になってくる子どもたちのケアの実践に係る対応力向上を図るために、平成27年度も年4回の研修会を開催します。

## 心的外傷対応能力養成大学院派遣

児童生徒の心のケアの推進に向けた中心的役割を担う人材の養成を目的に、平成24年度から毎年3名の現職養護教諭を、兵庫教育大学大学院修士課程に派遣しています。

派遣研修を終えた1・2期生の6名は、総合教育センターで開催される研修会の講師を務めるなど、研修の成果を生かしています。



## 『みやぎ防災教育推進協力校事業』の取組

学校と地域関係機関・団体等及びPTAとの連携のための実践研究を推進するとともに、「みやぎ防災教育副読本」を活用した防災教育の授業実践を行い、県内各学校で活用できる防災教育のモデル（みやぎモデル）づくりに取り組んでいます。

今年度の協力校は、県内7ブロック（各教育事務所、地域事務所）及び県立学校から、下記の16校が指定されています。

### 【平成27年度みやぎ防災教育推進協力校】

- |          |              |              |             |
|----------|--------------|--------------|-------------|
| (H26～27) | ■大河原町立金ヶ瀬小学校 | ■名取市立ゆりが丘小学校 | ■大崎市立岩出山小学校 |
|          | ■栗原市立志波姫小学校  | ■石巻市立広淵小学校   | ■登米市立加賀野小学校 |
|          | ■気仙沼市立階上小学校  | ■宮城県立気仙沼支援学校 |             |
| (H27～28) | ■角田市立東根小学校   | ■岩沼市立玉浦小学校   | ■美里町立不動堂小学校 |
|          | ■栗原市立栗駒小学校   | ■石巻市立鮎川小学校   | ■登米市立柳津小学校  |
|          | ■南三陸町立入谷小学校  | ■宮城県立角田支援学校  |             |

### 協力校の取組紹介

〔各協力校の取組は、スポーツ健康課Webページに公開する予定です。〕

### 既存の組織を生かした協議会を設置

### 名取市立ゆりが丘小学校

ゆりが丘小学校では、既存の組織である「ゆりが丘地区子どもを守る協議会」と地域連携を推進しています。この協議会は、公民館長、民生委員、自治会長、交番巡査、児童センター長、PTA役員、教職員等で構成されており、これまで防犯を中心に活動を行っていました。学校側からこれまでの活動に加えて防災活動への協力を依頼し、協議会の了解を得て、連携の取組がスムーズにスタートしました。

協議会と連携し、防災・地域連携の研修会や、学校にある防災倉庫の見学会の実施、登校時避難訓練への参加などに取り組みました。

学校では、今後も協議会と協力して防災教育の充実を図っていくこととしています。



●防災倉庫見学会の様子

### 始業前に「防災タイム」を導入

### 気仙沼市立階上小学校

階上小学校では、「みやぎ防災教育副読本」と「気仙沼市防災学習シート」を活用した防災教育年間指導計画を作成し実践に取り組んでいます。

副読本等を避難訓練などの防災関連行事の前に活用するだけでなく、総合的な学習の時間や学級活動の時間、さらに、第2、第4金曜日の始業前15分の「防災タイム」などで、活用機会を確保しています。

今年度は、教科との関連を図った防災教育年間指導計画の作成に取り組むことにしています。



●3年生「津波から身を守るために」

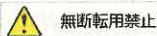


●4年生「非常持ち出し袋の中身を考えよう」



宮城県教育庁  
教職員課・スポーツ健康課

〒980-8423 仙台市青葉区本町3-8-1  
TEL 022-211-3639 FAX 022-211-3698  
TEL 022-211-3662 FAX 022-211-3796



無断転用禁止

●このリーフレットの制作は平成27年6月です。

## 平成27年3月宮城県内高等学校卒業者の就職内定状況(6月末現在)について

	H26.9月末	H26.10月末	H26.11月末	H26.12月末	H27.1月末	H27.2月末	H27.3月末	H27.4月末	H27.5月末	H27.6月末	前年同月	増減 (当月-前年 同月)
内定率	43.0%	67.7%	83.2%	90.0%	94.1%	97.3%	98.9%	99.2%	99.5%	<b>99.7%</b>	99.2%	0.5%
男子	45.5%	69.6%	85.9%	92.0%	95.2%	98.1%	99.3%	99.5%	99.7%	<b>99.8%</b>	99.3%	0.5%
女子	39.7%	65.2%	79.6%	87.3%	92.5%	96.1%	98.3%	98.9%	99.2%	<b>99.5%</b>	99.1%	0.4%
全国平均	—	71.1%	—	88.8%	—	—	97.5%	—	—		—	—

## 内訳

卒業生	20,019	19,988	19,967	19,957	19,945	19,932	19,917	19,916	19,916	<b>19,916</b>	19,867	49	
進学希望者	14,811	14,872	14,963	14,959	14,946	14,935	14,900	14,903	14,899	<b>14,899</b>	14,765	134	
臨時的仕事希望者	75	86	109	135	161	206	243	255	258	<b>266</b>	263	3	
進路未定者	136	98	83	86	83	51	44	37	35	<b>23</b>	52	-29	
就職希望者	4,996	4,931	4,808	4,777	4,755	4,740	4,730	4,721	4,724	<b>4,728</b>	4,787	-59	
内訳	県内	4,189	4,112	3,950	3,909	3,885	3,855	3,845	3,835	3,840	<b>3,844</b>	4,075	-231
	県外	807	819	858	868	870	885	885	886	884	<b>884</b>	712	172
	職安・学校紹介	4,109	4,148	4,167	4,163	4,136	4,125	4,098	4,091	4,094	<b>4,096</b>	4,038	58
	縁故・自営	192	215	214	213	235	248	265	263	264	<b>266</b>	377	-111
	公務員	695	568	427	401	384	367	367	367	366	<b>366</b>	372	-6
就職内定者	2,149	3,339	3,999	4,300	4,473	4,610	4,677	4,685	4,699	<b>4,713</b>	4,749	-36	
内訳	県内	1,622	2,640	3,215	3,478	3,625	3,736	3,798	3,804	3,817	<b>3,830</b>	4,038	-208
	県外	527	699	784	822	848	874	879	881	882	<b>883</b>	711	172
	職安・学校紹介	2,089	3,131	3,578	3,818	3,928	4,027	4,066	4,074	4,079	<b>4,088</b>	4,015	73
	縁故・自営	60	111	127	143	189	221	245	245	254	<b>259</b>	364	-105
	公務員	0	97	294	339	356	362	366	366	366	<b>366</b>	370	-4
就職未内定者	2,833	1,592	809	477	282	130	53	36	25	<b>15</b>	38	-23	
月間受験者数	4,054	822	641	347	167	132	71	61	62	<b>15</b>	11	4	

## 【概況】※( )内は前年同月

- ① 就職内定率 : 99.7% (99.2%)
- ② 進路希望の割合状況 : 進学 74.8% (74.3%) 就職 23.7% (24.1%)  
: 臨時的仕事 1.3% (1.3%) 未定 0.1% (0.3%)
- ③ 就職希望者の割合 : 県内 81.3% (85.1%) 県外 18.7% (14.9%)
- ④ 県内外の内定率 : 県内 99.6% (99.1%) 県外 99.9% (99.9%)
- ⑤ 内定者の割合 : 県内 81.3% (85.0%) 県外 18.7% (15.0%)
- ⑥ 学科別内定率

学科別内定率	普通科	農業科	工業科	商業科	水産科	家庭科	その他	総合学科
平成26年度	99.3%	100.0%	99.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.7%
平成25年度	98.8%	100.0%	99.9%	99.9%	100.0%	93.9%	100.0%	98.6%

## ⑦ 地域別内定状況

地域別内定率	白石	大河原	仙台	大和	塩釜	大崎	石巻	築館	迫	気仙沼
平成26年度	99.6%	99.8%	99.5%	100.0%	99.6%	99.9%	99.8%	100.0%	99.6%	100.0%
平成25年度	99.5%	97.8%	98.9%	100.0%	99.3%	99.7%	99.5%	98.9%	100.0%	100.0%





フィンランドを生きた女性画家の軌跡

《快復期》1888年 油彩・カンヴァス

# ヘレン・シャルフベック

魂のまなざし

## Helene Schjerfbeck

2015.  
8/6 (木) ~ 10/12 (月・祝)

宮城県美術館  
The Miyagi Museum of Art

【開館時間】午前9時30分~午後5時(発券は午後4時30分まで)

【主催】宮城県美術館、NHK仙台放送局、NHKプラネット東北、日本経済新聞社、河北新報社

【後援】フィンランド大使館、フィンランドセンター

【協賛】損保ジャパン日本興亜、大日本印刷

【制作協力】NHKプロモーション

【休館日】月曜日(ただし9月21日、10月12日は開館)、9月24日(木)

【特別協力】フィンランド国立アテネウム美術館

【協力】フィンエア、フィンエアーカーゴ

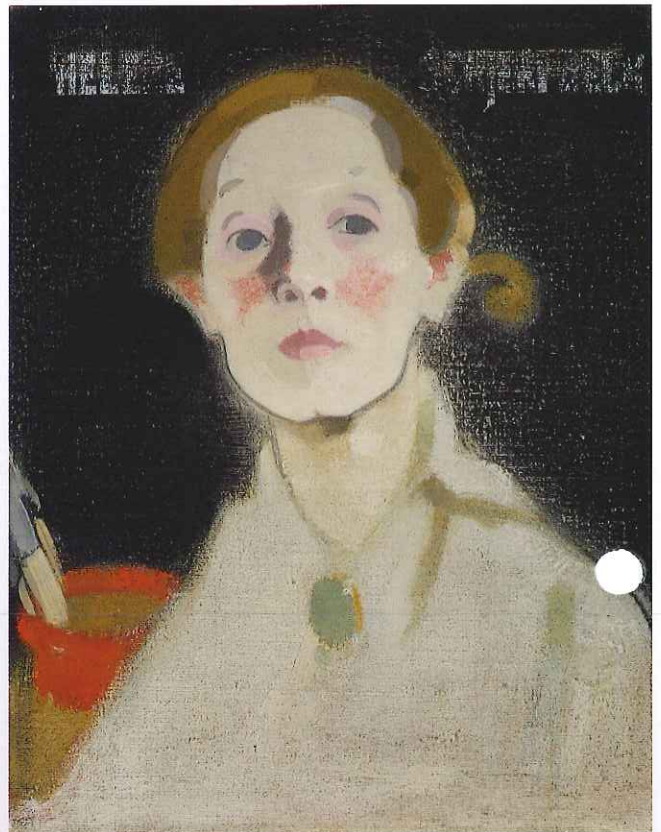
展覧会公式HP <http://helene-fin.exhn.jp/>



# フィンランドを代表する画家ヘレン・シャルフベックの 日本で初めての回顧展です

ヘレン・シャルフベック(1862-1946)は、2012年に母国のフィンランド国立アテネウム美術館で生誕150周年を記念する大回顧展が開催されたのを機に、近年世界的にも注目される画家の一人です。奨学金を得てパリに渡り、マネやセザンヌ、ホイッスラーなどの芸術やジャポニズムの流行に触れ、帰国後はヘルシンキ郊外の街ヒュヴィンカーや南フィンランド沿岸のタンミサーリで制作を続けました。パリを離れてもフランスやイギリスの雑誌などから美術動向を敏感に学び取り、後には17世紀の巨匠エル・グレコからもインスピレーションを得て新しいスタイルを探求、いずれの取り組みも自家葉籠中のものとしている点が特筆されます。

本展では、パリ万博受賞作《快復期》(1888年)や、フィンランド移住後の作でホイッスラーの影響を強く感じさせる《お針子(働く女性)》(1905年)などの代表作はもちろん、画家としての自身を見つめた自画像や静物画にも注目しながら、フィンランドを生きた女性画家の軌跡をたどります。



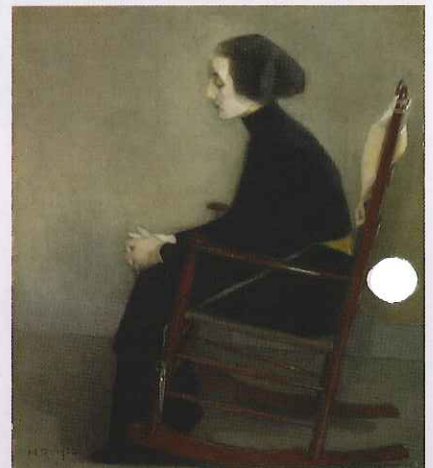
《黒い背景の自画像》1915年 油彩・カンヴァス



《諸島から来た女性》1929年 油彩・カンヴァス



《赤いりんご》1915年 油彩・カンヴァス



《お針子(働く女性)》1905年 油彩・カンヴァス

観覧料	一般	学生	小・中・高校生
当日	1,500	1,300	800
団体	1,400	1,200	700
前売り	1,300	1,100	600

※団体は20名以上 前売り券:7月1日(水)から8月5日(水)まで販売 ローソンチケット[Lコード:23487]、チケットぴあ[Pコード:766-900]、セブンチケット<http://www.sej.co.jp/products/tickets/>、イープラス<http://eplus.jp>

## 関連行事

### ◆講演会◆

9月5日(土)午後1時30分~(90分程度)  
「ヘレン・シャルフベックと自画像」

佐藤 直樹(本展監修、東京藝術大学准教授)

会場:アート・ホール(聴講無料)

### ◆学会員による展示解説

8月30日(日)、9月21日(月・祝)、10月4日(日)

いずれも午後2時~

観覧券をお求めの上、2階展示室入口にお集まりください。

### ◆まちなか美術講座

8月22日(土)午後1時30分~

「ヘレン・シャルフベックーフィンランドを生きた女性画家の軌跡」

菅野 仁美(当館学芸員)

会場:東北工業大学1番町ロビー 4階

※すべてフィンランド国立アテネウム美術館蔵  
表面 / Ateneum Art Museum, Finnish National Gallery/Hannu Aaltonen  
裏面 / Herman and Elisabeth Hallonblad Collection, Ateneum Art Museum,  
Finnish National Gallery/Hannu Aaltonen, Yrjö and Nanny Kaunisto Collection,  
Ateneum Art Museum, Finnish National Gallery/Hannu Aaltonen, Yrjö and Nanny  
Kaunisto Collection, Ateneum Art Museum, Finnish National Gallery/Henni Tuomi,  
Ateneum Art Museum, Finnish National Gallery/Hannu Aaltonen

|次回展覧会予告|

ルートヴィヒ・コレクション

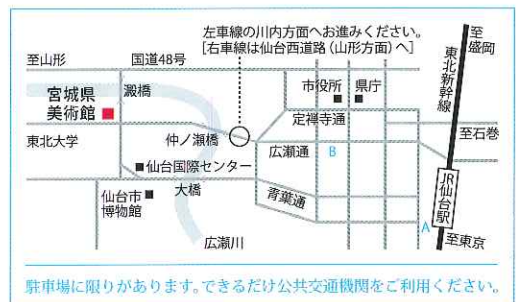
ピカソ展 10月31日(土)~12月23日(水・祝)

宮城県美術館  
The Miyagi Museum of Art

〒980-0861 仙台市青葉区川内元支倉 34-1  
TEL.022-221-2111  
<http://www.pref.miyagi.jp/site/mmoa/>

### 交通案内

- バス利用の場合 / 仙台駅西口バスプール仙台市営バス16番乗場から「交通公園行(広瀬通経由)」もしくは「川内営業所前行」に乗車、二高・宮城県美術館前下車。広瀬通一番町バス停(仙台フォーラス前)からも「交通公園行(広瀬通経由)」バスをご利用になれます。仙台駅西口バスプール仙台市営バス9番乗場から「宮教大」「動物公園循環」に乗車、国際センター西下車、北方向へ徒歩8分。
- るーぶる仙台バスの場合 / 二高・宮城県美術館前下車。
- タクシー利用の場合 / 仙台駅から約10分。
- 高速道路利用の場合 / 東北自動車道・仙台宮城I.C.より仙台方面(仙台西道路)に入り、仙台城跡方面を經由して美術館へ。宮城I.C.より約15分。



駐車場に限りがあります。できるだけ公共交通機関をご利用ください。



資料配付(5)

徳川家康没後四〇〇年記念

# 徳川将軍家と 東北

泰平の世の  
歴史と名宝



《小袖(前黄紋縮緬地雪持竹雀文様牡丹紋付)》  
天璋院所用 徳川記念財団

重文(白鍍銀形兜)  
徳川家康所用 久能山東照宮博物館  
※期間限定[7/11(土)~7/26(日)]



《東照大権現像》(部分) 天海賛・四代木村了琢筆 徳川記念財団

2015年  
7月11日(土)―8月23日(日)

開館時間:午前9時30分―午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日:月曜日(但し7月20日は開館)、7月21日(火)

観覧料:一般1,000円(800円)/シルバー[65歳以上]900円(720円)/高校生500円(400円)/  
小中学生300円(240円) ※()内は20人以上の団体 ※身分証明書をご提示いただく場合がございます。

主催:東北歴史博物館・秋田県立博物館(徳川将軍家と東北展実行委員会)/©©©仙台放送局  
共催:河北新報社 特別協力:公益財団法人徳川記念財団/久能山東照宮/伊達家伯記念會  
後援:宮城県神社庁/多賀城市/多賀城市教育委員会/多賀城市観光協会/多賀城・七ヶ浜商工会/  
TBC東北放送/仙台放送/ニッポンテレビ/ICB東日本放送/エフエム仙台/宮城ケーブルテレビ/  
朝日新聞仙台総局/毎日新聞仙台支局/読売新聞東北総局/産経新聞社東北総局  
助成:芸術文化振興基金

東北歴史博物館 TOHOKU HISTORY MUSEUM  
〒985-0862 宮城県多賀城市高崎1-22-1  
Tel.022-368-0106 Fax.022-368-0103  
http://www.thm.pref.miyagi.jp/

政宗見参!



宮城県指定(木造 伊達政宗像)  
瑞巖寺



徳川將軍家を中心として幕府と各藩で全国の統治を行った江戸時代は、戦争のほとんどない「平和」の時代であり、歴史上特異な時代です。その260余年は、現在まで続くその後の歴史と日本文化に大きな影響を与えたことは言うまでもありません。東北においても、関ヶ原合戦前後における武家各氏の動きとその後の徳川家康による領知割りによって、「平和」の時代の到来とともに、新たな秩序がもたらされました。また、その時代が終焉を迎える戊辰戦争での東北諸藩の動きは、徳川將軍家と東北が浅からぬ関係にあったことを物語っています。

徳川の“泰平の世”はいかにして築かれ、繁栄したのか。

今まさにその世を築いた徳川家康の没後400年。江戸という泰平の時代を東北との関係を中心に振り返りたいと思います。そして、東日本大震災からの復興途中にあるここ東北に、次なる“泰平の世”が到来することを祈念して止みません。

# 徳川將軍家と東北

## 泰平の世の歴史と名宝

徳川家康没後四〇〇年記念



久能山東照宮の重器

〈貝衆具足〉  
徳川家廟寄進  
久能山東照宮博物館

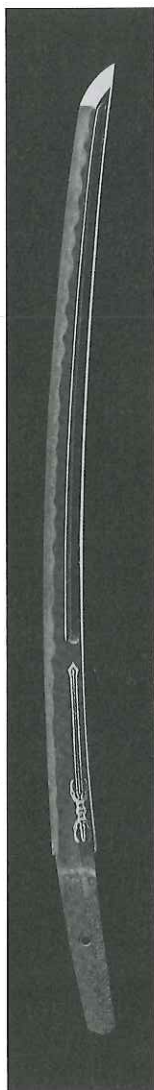


皇女・和宮のみやび



重文〈厨衝茶入 銘 初花〉 徳川記念財団  
※期間限定展[7/11(土)~7/26(日)]

天下人の愛した大名物



家康所用の刀剣

篤姫愛用



〈薩摩 磯御座焼 錦手狗〉 天璋院所用 徳川記念財団

〈小袖(浅葱縮緬地松桜芦羽衣模様) 和宮(静寛院宮)所用 徳川記念財団



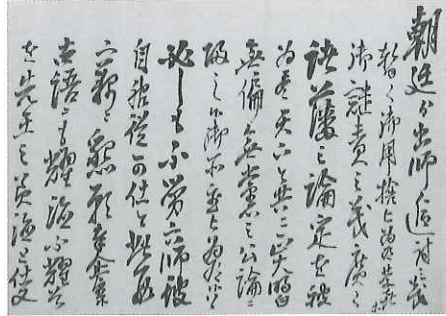
〈人色皮包(黒糸成具足) 佐竹義宣所用 秋田市立佐竹史料館



皇女・和宮愛用

〈御所人形 装紋付袴立姿) 和宮(静寛院宮)所持 徳川記念財団

重文〈薩差 銘 長船勝光宗光) 日光東照宮



〈伊達慶邦題言書) 仙台市博物館

### 関連行事:

#### ■記念講演会 | 3F講堂(入場無料)

●7月11日(土) 午後1時30分~午後3時

「徳川の『平和』と東北」

徳川恒孝氏(徳川記念財団理事長・徳川宗家18代当主)

●7月26日(日) 午後1時30分~午後3時

「徳川家康の教育と外交」

落合俣洲氏(久能山東照宮宮司)

#### ■関連イベント

●特別講座 | 特別展示室・研修室(参加無料、ただし特別展観覧券が必要)

7月25日(土) 午後3時~午後4時30分

「久能山東照宮の文化財一家康の素顔」

小林一哉氏(久能山東照宮博物館副館長)

●書道パフォーマンス | 当館水上舞台(雨天時は会場変更)(参加無料)

7月11日(土)、8月9日(日) 午前11時~12時

「家康のこぼ、政宗のこころ」

聖ウルスラ学院英智高等学校書道部

#### ■特別展示解説 | 特別展示室(特別展観覧券が必要)

毎週土曜日(7月11日を除く) 午前11時~ 当展担当者



#### 【交通案内】

●JR線をご利用の場合

JR東北本線「国府多賀城駅」となり(仙台駅から14分)

JR仙石線「多賀城駅」から徒歩約25分またはタクシー約10分

●お車をご利用の場合

仙台東部道路「仙台港北IC」から約10分 / 仙台北部道路「利府しらかし合IC」から約15分

国道4号線菅竹インターから国道45号線を塩釜方向に8km(約25分) / 仙台港フェリーターミナルから約15分

無料駐車場(191台・大型バス10台)

## 東北歴史博物館

### TOHOKU HISTORY MUSEUM

〒985-0862 宮城県多賀城市高崎1-22-1 Tel.022-368-0106 Fax.022-368-0103

<http://www.thm.pref.miyagi.jp/>

幕府討伐に異議あり!